「津島の三大まつり」紹介

尾張津島藤まつり
4月下旬~5月上旬

津島は、藤浪の里と言われた藤の名所で、天王川公園の南側に藤棚が再現されています。藤棚は長さ275m、棚面積5,034m²と壮大なスケールで周囲に甘い香りが漂います。期間中は、多彩なイベントが行われます。

尾張津島天王祭
7月第4土曜日とその翌日

国の重要無形民俗文化財に指定され、「日本三大川まつり」の一つに数えられ、津島神社の祭礼として500年以上もつづいています。宵祭は、5艘の巻きわら船が津島笛を奏で、半円・山型に365の提灯、中央高く真柱に12個の提灯をかかげ、ゆうゆうと天王川を漕ぎ渡ります。
朝祭は能人形を飾った車楽船に模様替え6艘で古楽を奏でながら丸池を漕ぎ進みます。市江車から布鉾を持った10人の鉾持ちが水中に飛び込み神社の拝殿前に布鉾が奉納されます。

尾張津島秋まつり
10月第1日曜日とその前日

まちに繰り出す華麗な16台の山車はいずれも数百年の歴史がある貴重な文化財。その全ての山車で笛や太鼓のお囃子と共にからくり人形が操られ、街角では「車切」と言われる車回しが行われます。
同時に石採祭車が威勢よく鉦や太鼓を打ち鳴らしながらまちを練り歩き、午後には、山車と共に津島神社に奉納されます。

交通のご案内

アクセス
[公共交通機関]

センター付近には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。また、市内の有料駐車場をご利用ください。

ご利用のご案内

開館時間／午前10時から午後5時まで
休 館 日／毎週　月曜日
（月曜日が祝日に該当するときは、その翌日以降の休日でない日）
1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで

■お問い合わせ先

津島市観光交流センター
愛称“まつりの館 津島屋”
TEL0567-25-2701
〒496-0805津島市本町1丁目52番地1

津島市観光交流センター

愛称“まつりの館 津島屋”

「楽しくなければ祭じゃない
まじめに学び、遊ぶー」

本　館（旧津島信用金庫本店）

構　造：鉄筋コンクリート造2階建て
建築年：1929年（昭和4年）

本建築物は、昭和4年に銀行建築として、柱・梁・床・壁・屋根をすべて鉄筋コンクリート造（全鉄筋コンクリート造）で当地に新築されました。
建物の正面は「復興式」と呼ばれる建築様式で、西洋建築におけるルネッサンス様式を基調としながらも意匠や装飾を簡略化したものであります。（登録文化財）

金庫室

土蔵棟

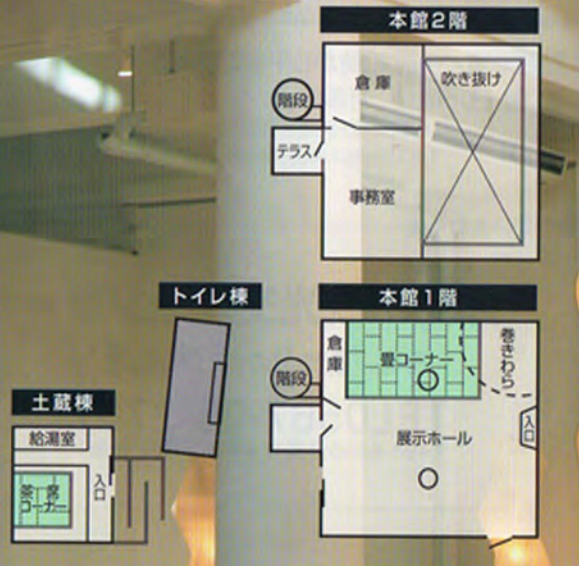
構　造：木造2階建て（土蔵造）

土蔵は、江戸時代から明治時代初期にみられる土蔵の形式を持った建物であり、1893年にこの地に開業した津島銀行の付属家屋かそれ以前にこの地にあった商家の付属家屋と考えられます。

土蔵棟内部

津島の歴史・文化・観光
知と人の交流センター

本町筋に残る、地方都市に波及した昭和初期の
典型的な銀行建築が、津島市観光交流センターとして、
生まれ変わりました。
昭和初期戦前にこの地方の経済的中心であった
津島の繁栄を物語る近代化遺産であり、
観光交流センターとして津島の歴史文化を次世代に
伝えていきます。
センター付近の津島市本町筋には、町屋建築、
まつり文化、茶の湯など尾張西部固有の
生活文化が蓄積されています。



催事広場

まつり映像等の上映
講演会・シンポジウムの開催ができる“学びの場”

観光交流ブース

観光パンフ、郷土資料、地域物産の展示
津島の歴史・文化のパネル展示

市民交流コーナー

茶の湯体感、展示等